

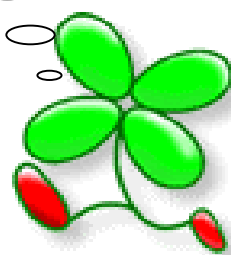
「福祉と経営の融合」

第7回経営パラリンピック

“期待”に応える

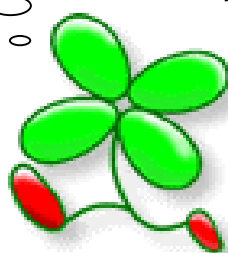
一般的に「経営」=「お金儲け」と結び付けがちですが、
本当の「経営」とは「人のお役に立つように、物づくりや
サービス提供に励み、同時に自分も幸せになる」こと
です。収益はその結果です。

売れる物づくり



優れた人づくり

「経営パラリンピック」は、福祉作業所において障害のある
人々が働く喜び・生きがいを見出して社会に貢献している、
すなわち「福祉と経営の融合」における知恵・工夫・感動を
皆様で共有化する大会です。



“ココ”にこだわる

平成 20 年 9 月 15 日(敬老の日)

開催場所 大阪成蹊大学 相川キャンパス

★阪急相川駅にはエレベーターがあります

開始時間 11:00~17:00

HP:<http://keipara.ikidane.com/>

参加費・事前申し込み不要！！



第7回 経営パラリンピック

基本テーマ:期待に応えるため、“ココ”にこだわる。

- ・各事業所は、「福祉と経営の融合」に向かって、期待に応えるために努力をしています。
- ・喜ばれる商品やサービスを作りを行い地域社会の期待に応える。
- ・みんなが働ける環境作り、本人や家族の期待に応える。
- ・各事業所には、それぞれの「こだわり」があります。
- ・第7回経営パラリンピックは、各事業所の物づくり・人づくりの強みに着目。
- ・期待に応えるためにコツコツとノウハウを蓄え、実践している“ここ”について発表。
- ・みんなで知恵・工夫・感動を共有します。

主催：NPO法人経営パラリンピック委員会

後援：ヤマト福祉財団

京都新聞社会福祉事業団

近畿社会就労センター協議会

大阪府福祉協議会セルフ部会

社会福祉法人大阪ボランティア協会

きょうされん大阪支部

きょうされん京都支部

NPO法人大阪障害者雇用支援ネットワーク

大阪PHP松下哲学研究会

産経新聞厚生文化事業団

協賛：大阪成蹊大学

協力：松下電池工業株式会社

《大会プログラム》

10:00～	開場・受付
11:00～11:15	開会の挨拶
11:15～12:15	基調講演
12:15～12:45	発表と討議(1事例)
12:45～13:35	休憩とマンドリン演奏
13:35～14:35	発表と討議(2事例)
14:45～16:25	発表と討議(2事例)
16:25～17:00	閉会の挨拶
17:30～	ご意見頂戴会

《発表事業所》

NPO法人ふあーちえ たむたむ荘	ヤマト運輸「メール便」を活用した人づくりと事業所の活性化	障害のある人が、外でお役に立ち、互いに仕事を教えあうことで働く喜びや自信がわき、同時に作業所自体も活性化する。 そうした視点にたち、就労移行支援を目指す作業所に対してメール便利用のきっかけ作りのポイントを発表。
NPO法人 はまゆう作業所	お米の販売、バザー、人づくり、給与で実績を上げる、心を込めた取り組みの実際	目先の売り上げより前に長期的な安心とおいしいにこだわる。 大口20回以上のバザーは楽しむ心で下準備段階から勝負する。人づくりは職員が教え方に工夫を凝らし経験を通じて伸ばす。それらを石の上にも3年の精神で積み重ねる。
有限会社 ウラノマッサージ	大村耕治さんがくれた万人に感動を与える宝物 ～ゼミ生制作パラプロジェクトX～	ある中途障害者の人生を画像とナレーションで紹介、ご本人も登場。 中途視覚障害を乗り越え、お客様第一に徹し、癒しと希望を与えながら指名率95%を残す変化・成長のプロセスを「期待に応える」という普遍的なテーマで描き出し、感動と元気を伝えたい。
社会福祉法人 コスモスグループ	本部・エリア・各作業所の特性を活かし、地域を巻き込んだ緻密な組織行動	国民の権利としての社会福祉の実現を基本理念として強くもち、福祉の幅広い分野を対象に、障害の重さに関係なく全員受け入れ方針のもと、新事業開発に挑戦する仕組みと利用者各人に着目した人づくりにおいて、変化・成長し続けるポイントを発表。
経パラ OB学生 島津、岩元	経営パラリンピックでみんなに育てられ、福祉事業でそれらの経験を活かすOBの報告	事業所のご訪問と対話、大会の結果等を通じて育てられ、就職先でそれらを活かすOB報告。学生時代の努力・感動・苦労、福祉業界から教えられたこと、経営パラリンピックから得た教訓、現在の仕事・役割・働きぶり等について、ぜひ伝えたいこと、勤務先の社長の評価、今後の夢・ビジョンを発表。
大阪成蹊女子高校	ギターマンドリンクラブによる演奏	海外公演もこなす実力集団による心にしみる演奏を披露する。